

第9期第4回豊中市文化芸術振興審議会

日 時 令和6年（2024年）7月31日（水）午後5時00分～7時00分
会 場 豊中市役所第二庁舎 3階大会議室東側
委 員 委員：橋爪（会長）、青木、天羽、上田、江口、後藤、原、山下
欠席：永田
事務局 都市活力部：上原部長
魅力文化創造課：林課長、山森主幹、石橋係長、井口係長、渡邊主事、吉川
傍聴者 1名

[開会]

事務局○本日は第9期の審議会の第4回目であり、1月以来の開催で、今年度としては1回目の開催となる。

○（事務局の紹介）

1. 第9期第3回審議会の振り返りについて

事務局○（参考資料に基づき説明）

2. 令和5年度文化芸術推進基本計画に基づく施策実施状況（案）について

事務局○（資料1-1、1-2に基づき説明）

会 長○全体を通して、何か意見はあるか。

委 員○豊中市HPに掲載している各事業のリンクを貼って、どういう活動かすぐわかるようにしてはどうか？

事務局○検討させていただく。

委 員○Instagramにて配信しているストリートピアノ・プロジェクトの取組みについて、再生回数を掲載することは可能か？

事務局○3月31日時点でのデータがあるかどうか確認のうえ、ない場合は●●日現在という形式で最新の情報を記載させていただく。

委 員○資料1-1パワーポイントに記載されている指標は掲載するか。

事務局○しない想定。

委 員○指標の掲載をしない場合は、各事業の達成度合いや成果が見えにくいいため、指標を掲載したほうがより良いのでは？

事務局○パワーポイント資料において可視化する、もしくは指標データを掲載することを検討させていただく。

会 長○最後のページが図のみになっているため、説明文言をいれてはどうか？

事務局○説明文言を追加させていただく。

委 員○同じタイトルが続いている点を工夫できないか？

事務局○検討のうえ修正させていただく。

会 長○指摘内容は事務局と会長で調整のうえ、HPに掲載するということよろしいか。

（委員異議なし）

会 長○振り返りとしてはこれで以上とする。

3. 令和6年度文化芸術振興助成金について

事務局○本議題については非公開の審査内容が含まれるため、非公開としてよいか。

(委員異議なし)

会 長○本議題については非公開とする。

(傍聴者退室)

事務局○(資料2-1、2-2、2-3、2-4に基づき説明)

会 長○審査された委員から一言お願いしたい。

委 員○審査通過団体は、公共性や誰かのためになにができるのかという点を意識されていた。1位の団体は特に公共性を意識されていた。また、高齢化が進んでいるかつそれを支える若手がいないことから、団体の運営を継続していくことについて、どうサポートしていくかが課題となっている。そのほか、助成団体間で連携や交流が生まれていることがよいと感じた。

委 員○助成金交付団体の実施事業ヘインターンやボランティアなど実践の場として参加していただき、後継者になっていただきたい。また、内容も重要だが、運営を継続していく場を作ることは、アーティストやクリエイターだけでは難しいため、文化芸術センターで実施しているアートマネジメント講座を受講するなど、ほかの事業との連携による相乗効果が期待できればいいと感じる。

委 員○助成金審査の際に、プレゼンなどをより公にすることで、自分の活動を見直したり、他団体から学ぶことができたりするため、もっと市民の方や市民団体の方にも関心を寄せてもらえるとなおよいと感じる。また、助成金事業においては、どうしてもお金に目を向けられがちだが、それよりも事業を通じたネットワークの構築や、同じような活動をしている人同士が「知り合える」「学びあえる」「連携しあえる」ことに意味があると考え、今後も交流が生まれる仕組みを作っていけたらいいと思う。

会 長○ほかの委員から質問はあるか？

委 員○事業の実施場所はどのような場所があるのか？また、地理的な分布で偏りがあつたりはしないか？

事務局○文化芸術センターのホールを利用されるほか、古民家の利用をされることもある。また、野外で実施される団体もある。ただし、交通の利便性からどうしても阪急沿線が多いことから少し偏りはあるかもしれない。

委 員○助成金申請団体の中には、大学が申請をしているものが増えていた。熱意のある大学生が個人または団体として主体的に実施するものなのか、大学の授業など経営母体が別にあるにもかかわらず助成金を申請するものかなど審査において判断が難しくなっている。また、事業そのものは豊中市内で実施するが、市外からの助成金申請が増えてきたため、市内だけでなく市外のライバルが増えてきた印象がある。

委 員○イベントの参加費は無料なのか？

事務局○無料とは限らない。

委員○助成金の計算においては、イベント参加費も考慮したうえで、助成金額が決まるのか。

事務局○ご認識のとおり。実績報告の際には、収入と支出をそれぞれ報告し、助成対象経費をもとに算出される支出の半額を限度額として、内容を精査のうえ、助成金を交付する。また、事前の審査の段階でいったん決定額が決まるため、事業実施後にその決定額を上回って、助成金を交付することはない。

委員○当該事業への交付は1年で終了するのか。それ以降も助成金交付されることもあるのか。

事務局○事業は年度単位で実施され、同一事業で最大3年間交付を受けることができる。

委員○ぜひほかの委員の皆さんも事業実施後の報告会に来てお話を生で聞いてほしい。そのほか委員が事業の視察に行くことが可能であれば、事業に関する情報をいただきたい。

委員○もちろん視察に行く場合、申し込みやチケット代はどうするのかといった確認は必要になる。

事務局○事務局は全事業において、事業がきちんと遂行されているかを確認するために、モニタリングに行くが、委員の方も視察できるかどうかについては、今後検討させていただく。

4. その他

事務局○次回の審議会は12月頃に開催したいと考えている。後日、日程調整する。

○会議録については事務局で作成した案を、後日、委員の皆様を確認後、確定させていただく。会議録は市のホームページで公開する。

[閉会]

(以上)